

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題1：長岡市通学路の安全対策（第2期）（防災・安全）】 （分野：道路事業）
2 開催日時	令和5年2月24日（金曜日） 午後1時30分～午後2時55分
3 開催場所	アオーレ長岡 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）</p> <p>大塚委員長 柏原副委員長 波形委員 土屋委員 矢澤委員 佐藤委員</p> <p>（事業説明者）</p> <p>・長岡市 中川土木部長 土木政策調整課：松木課長、松井課長補佐、 岡村事業推進係長 道路管理課：石黒課長、片桐維持係長 道路建設課：水澤課長、桜井課長補佐、 金子工務第一係長、吉井工務第二係長 地域建設課：清田課長、池嶋課長補佐、 稲田工務第一係長、渡邊工務第二係長 都市施設整備課：有賀課長、長谷川課長補佐、 小柴都市整備担当係長 学校教育課：佐山課長、三津輪学校支援係長</p> <p>（事務局）</p> <p>土木政策調整課：諏佐課長補佐、櫻井調整係長、 池澤主査、板橋主事</p>
5 議題	<p>(1) 社会資本総合整備計画の概要について</p> <p>ア 長岡市通学路安全プログラム イ 本整備計画の概要 ウ 事業の内容</p> <p>(2) 評価結果の内容について（審議事項）</p> <p>ア 成果の達成度 イ 事業の効果発現要因の整理</p> <p>(3) 今後の通学路の安全対策について（審議事項）</p> <p>ア 今後の社会資本整備の方策</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p>ア 委員会終了後の手続き</p>

6 審議結果の概要	<p>議題(1)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題(2)、(3)について 指標3については委員会より評価を「○」とする提案が出された。 それ以外については、提案のとおり、承認された。</p> <p>議題(4)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p>
7 審議の内容	
<p>委員長</p> <p>土木政策調整課長補佐</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>計画名「長岡市通学路の安全対策（第2期）（防災・安全）」の事業評価です。 まずは、（1）社会資本総合整備計画の概要について、説明をお願いします。</p> <p>（資料により説明）</p> <p>この説明に対して、ご質問等がありますか。 資料8ページの指標対象とそれ以外とあるのは、どのようなことを指していますか。</p> <p>赤字の117箇所の指標対象と右側の268箇所の違いですが、117箇所が社会資本整備総合交付金を利用し対策を行ったものです。それ以外の268箇所は、社会資本整備総合交付金は活用せずに、注意看板やカーブミラーなどの軽微な対策を行ったものです。今回評価いただくのは、117箇所についてです。</p> <p>「要対策箇所」と書かれていますが、実際に対策を行った箇所は異なるのではないかと思います。対策した数字が示されているのでしょうか。</p> <p>この数字は、目標設定をした時点において対策が必要な箇所が市道路管理者で385箇所あり、そのうち、117箇所が対象事業となるものです。引き出しが出ている146箇所はPDCAサイクルの結果、令和3年度末にはそこまで増加をしています。そのうち、5ヵ年で対策した箇所について今回評価いただくということです。</p> <p>この数字は要対策箇所であって、実施したものとは限らないということでしょうか。</p> <p>すべて終わっているわけではありません。</p> <p>わかりました。</p> <p>対策箇所の抽出方法ですが、学校やPTAからの意見を吸い上げたという認識でよろしいでしょうか。または市が別の方法で調べ</p>

	たものも入っていますか。
土木政策調整課長	資料4ページにありますように、教育委員会、警察、道路管理者が連携し、合同点検をして拾い上げて決めています。
委員	双方向からということによろしいでしょうか。
土木政策調整課長	その通りです。
委員	ありがとうございました。
委員	歩道整備と路肩整備という方法があるとのことですが、地元の要望なども踏まえてどのように選ばれるのでしょうか。 また、事業費における交付金の割合は年々変わってきているのでしょうか。
土木政策調整課長	1つめの質問については、資料17ページのとおり、歩道整備・路肩整備・グリーンベルトの3つの手法を使っています。19ページ以降に事例を紹介していますが、22ページは路肩拡幅で、路肩を広げて区画線で処理し、歩行空間を確保するものです。19ページは歩道整備で、白く見えているブロックで歩道と車道を分けています。こちらのほうがグレードの高い、より安全な対策となります。19ページは国道の抜け道で交通量が多いため、グレードの高い整備をしています。23ページは、古い側溝に蓋がなく、歩くスペースの無かったところに蓋をかけるという手法です。現地状況と地元の皆様の事情を聞いたうえで方法を選んでいきます。 次に2つ目の質問については、事業の補助率はこれまで同様55%となっています。
委員長	対策を実施したものは完成形ということでしょうか。グレードという話がありましたが、とりあえず対策をした後に、他の対応をするのでしょうか。
土木政策調整課長	現段階では完成と捉えています。ただ、当プログラムが終わりではなくPDCAサイクルで繰り返しますので、状況が変わるようであれば将来的に変わる可能性はあります。
委員長	プログラム自体は続くが、今回の整備は終了し、また新たなものが立ち上がり、繰り返し検討されるということによろしいですか。
土木政策調整課長	はい。毎年4～5月に小学校と一緒に危険箇所を確認するので、プログラム自体は続けていきます。ただ、今回の計画はこれで終了となります。
委員長	対策箇所の数が前回より増えるということは、見直しによって増加したということですね。対策した内容が完成形とするならば完了数の増加によって、数は増えないという理解でよいでしょうか。

土木政策調整課長	そのとおりです。要対策箇所数自体は可能性としては増えることも見込まれますが、整備を行い、未完了数が減っていくことを目指しています。
委員長	わかりました。
委員	私たちは車のハンドルを握る立場ですので、通学ルートを通る時に、運転者側も子供側も安全が確保できるということで、この事業の推進はありがたいと感じています。踏切などでヒヤッとする場面がまだたくさんあるので、地域と学校との関係性の中で、安全に通学できる仕組みづくりをより推進いただけるとありがたいです。質問は特にありません。
委員長	ありがとうございます。 資料30ページの一覧表を見ると、歩道整備にはお金がかかっていることがわかりました。
委員長	次に移ります。(2) 評価結果の内容について、説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	(資料により説明)
委員長	この説明に対して、ご質問等がありますか。
副委員長	消雪パイプの指標の従前値と評価値の分母が変わっているのはなぜですか。
土木政策調整課長	資料36ページで、従前値に消雪パイプによらずに安全対策ができる箇所も分母に含まれていました。本来は入れるべきではありませんので、評価値ではそれを除きました。現段階で従前値からも除くのが正しいかとも思いましたが、同様のケースが過去にあった際、国土交通省より、計画終了時点で従前値と評価値の数字は変更しないようにという指導があったため、このような違いが生じています。
副委員長	わかりました。
委員	踏切整備について、地下道へ誘導で対処しているとのことですが、整備をせずに地下道への誘導を行っているということでしょうか。
都市施設整備課長	踏切が狭く通学時に児童と車が錯綜して危険という声が学校から寄せられるケースがあります。ただ踏切数は多く、全てを拡幅することが困難ですので、取付道路の歩道の有無や迂回できる場所がないか、地元のサポートなど様々な観点から、どれが一番効果的かを考えます。その中で今ほど申し上げた残り1箇所のよう、交通量や人数を考えたときに、すぐそばに地下道があるので、通学路の変更も踏まえて検討しているところです。

委員	地元との話し合いの結果、地下道への誘導になったということでしょうか。
都市施設整備課長	地元からは踏切を広げてという要望がありますが、相当な費用がかかることや費用対効果を見ながら丁寧に説明し、地下道でどうかということと話をしています。
委員	評価としては未達成ということで、残ることになるのでしょうか。
都市施設整備課長	対策が確定していないので未達成としています。
委員	児童の列に車が突っ込むといったニュースでは、当然責任は運転者にあると思うが、インタビューで地元の人が昔からあそこは危険だった等の発言もあって、事故などが起きてしまうと、道路管理としての問題も出てきます。歩行空間確保の対策率80%は順調に推移しているものと感じるが、安全確保の観点からも、なるべく優先順位を上げて執行してもらえると助かります。
土木部長	そのような事故を受けて、長岡市でも緊急点検を実施しました。これまでの国の制度を活用した事業の他に、市独自で交差点で柱を立てたり、照明を付けたり、他にも事故防止対策に努めているところです。
委員	歩道空間の確保について、新しい住宅街には子供も増え、交通量も急に増えるので、今後の改善で未開発の部分があればぜひ着目してほしいです。 また、消雪パイプの対策箇所が今後増えるのかについてもお聞かせください。 踏切で地下道を利用する際、下校時間が遅くなる児童の安全確保についても配慮いただけたらと思います。
道路管理課長	通学路の歩道消雪パイプは平成19年度から着手しており、歩道消雪パイプを設置できる範囲として学校正門から半径200m程度の範囲で整備を進めています。この条件に合う整備は、小学校はほぼ完了しています。引き続き中学校も順次計画的に進めていきます。
都市施設整備課長	地下道については、ご指摘の通り、地下道と踏切がどの程度離れているか、そこに至るまでに危険がないか、防犯カメラが必要か、パトロールの方がついてくれくかなど、いろいろ協議しながら検討していきたいと思っています。
委員長	では、指標の達成度を確認をしますが、指標1は「○」でよろしいでしょうか。
委員	はい。
委員長	それでは指標1については承認することとします。 指標2は「△」ということですが、これまでの説明を踏まえる

	と「○」でもいいように感じたがどうでしょうか。
都市施設整備課長	従前値を設定した平成29年度には4箇所終了を設定し、実際に終えています。令和2年度に1つ増えた対策箇所については検討している途中であるといった状況です。
委員長	先ほどのお話では、目標値自体が見込みの数字で100%としていたが、5件中1件は費用対効果などの関係で不要であるということで、目標値に入らないように思いますが。皆さんはどう考えられるでしょうか。
副委員長	私も100%でいいのかなと思いました。
委員長	未達にして残した方が将来に可能性を残すことにはなりますが、踏切は費用対効果で厳しいというのであればどうかとも思いますが。
都市施設整備課長	これまでも、要望のある箇所すべてを拡幅しなくても迂回路でいいというところはそのようにして、対策完了という整理にしています。
委員長	ではしばらく考えていただいて、次の指標3「△」についていかがでしょうか
委員	対応を検討している箇所が、4年度末までに話が成立すれば「○」ということでしょうか。
土木政策調整課長	地元との協議がまとまり次第整備します。踏切と違い、消雪パイプは単純に1箇所できておらず地元との検討中ですので、整い次第実施します。
委員	消雪パイプの方は話がつく前提であれば「○」でよいと思います。ただ、踏切は「○」にして話が終わったようにしてしまうと、地元のこともあるので、「△」でもよいのかなと思います。
委員	私も同意見で、踏切についてはもう一步地元との協議を詰めて、子供の安全確保のためにという話をさせていただきたいと思います。消雪パイプはこれでよいと思います。
委員	同じく、地域の方々の声を受け止めたいという改善ということで、踏切は「△」、消雪パイプは「○」でよいと思います。
委員	評価は%で見るか箇所で見ると。分母の違う%を比べることがどうなのかということも申し上げたい。結論から言えば、地元にとって今後の整備が進むのであれば「○」でもいいですし、あえて「△」にしてこれからは頑張っていくといった考えにしてもいいと思います。
委員長	ありがとうございます。 では、指標2につきましてはいろいろな意見を踏まえて委員会

委員	<p>としては、「△」ということよろしいでしょうか。</p> <p>はい</p>
委員長	<p>指標3ですが、100%に近い数値で残りの1件についても見通しがついているということと、行政の方が一生懸命対応しているということを踏まえ、この委員会の場では「○」でよろしいかと思いましたがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p> <p>では、(3)今後の通学路の安全対策について説明をお願いします。</p>
土木政策調整課長補佐	<p>(資料により説明)</p>
委員長	<p>今後の社会資本整備のアイデアなどありましたら、あわせてご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>道路管理者の役割を引き続きお願いしたいと思います。新潟特有の気象条件への対策も必要ですので、学校、地域、警察などが連携し、地域ぐるみで対策をお願いしたいと思います。特に郊外の学校に熊やいのししが出るなど、道路管理者とは別の観点も必要になってきますので、通学環境の整備に努めていただきたいと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>長岡市は区域が広く、地域性が多岐に富んでいます。気候や鳥獣など、いろいろな要素があると思いますので、道路管理者の観点にプラスし、交通安全プログラムを実行していきたいと思えます。</p>
委員	<p>ハード整備は進めていただいているが、通学路には車であったり不審者、先ほどの話にもあった自然的要素など、いろいろな危険があります。ハードが生きていくためにはソフト事業や地域の皆さんとの連携があってこそということで、協議会との連携をこれまで以上をお願いしたいと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>承知いたしました。道路管理者の観点や教育委員会だけではなく、諸方面からの要望を広く聞き入れて進めていくことが大事だと改めて感じました。</p>
委員長	<p>資料20ページの写真は私がたまたまよく通る道なんですけど、歩道橋を架けていただいたが、冬期は雪が多くて歩道が通れず、橋の上の車道を通ってました。車が通る橋も狭く、1台通るのもやっとなかなか危険に感じました。整備していただいたのはよいですが次の課題もあると感じますので、もう少し頑張ってくださいといいかなと思いました。</p>

委員	そこは橋を渡った先の東側に歩道がなく、運転側も慎重さが必要です。
委員長	まだ危険な箇所として残っているという意識をもっといただくとありがたいです。
委員	地域の事情や高齢化などでソフト対策が追い付いていかないことがないように、住宅地の開発と共に、そのあたりの連携もお願いします。
道路管理課長	ご指摘の場所は除雪路線になっていますが、除雪が悪いという苦情を受けたことはあります。すべての歩道が除雪路線ではありませんが、消雪パイプのない通学路の歩道除雪は、今後もしっかり取り組んでいきたいと思えます。
道路建設課長	佐藤委員から、東側の方という話がありましたが、PDCAサイクルの中で意見をいただき検討していくこととなりますので、ご理解いただきたいと思えます。
委員長	では（４）今後のスケジュールについて、説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	（資料により説明）
委員長	ご質問等ありましたら、発言をお願いします。 このスケジュール通りに実施いただくということですので、了承したいと思います。 ご質問等がなければ、これにて議事を終了いたします。

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題2：都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現（第2期）】（住宅・都市交通事業）
2 開催日時	令和5年2月24日（金曜日） 午後3時～午後4時45分
3 開催場所	アオーレ長岡 大会議室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>大塚委員長 柏原副委員長 波形委員 土屋委員 矢澤委員 佐藤委員</p> <p>(事業説明者)</p> <p>・長岡市</p> <p>都市施設整備課：有賀課長、石橋施設営繕担当課長 野崎施設営繕担当課長補佐、長谷川課長補佐 服部建築担当係長、小柴都市整備担当係長</p> <p>都市政策課：高頭課長、小島都市政策担当係長 大矢住宅政策担当係長</p> <p>生活支援課市営住宅相談室：丸山室長、佐藤主査、小林主任 中心市街地整備室：菰澤まちなか整備担当課長 橘まちなか整備担当係長</p> <p>道路建設課：水澤課長、桜井課長補佐、金子工務第一係長 石田工務第四係長</p> <p>地域建設課：清田課長、池嶋課長補佐、稲田工務第一係長 渡邊工務第二係長</p> <p>(事務局)</p> <p>土木政策調整課：諏佐課長補佐、櫻井係長、池澤主査、 板橋主事</p>
5 議題	<p>(1) 社会資本総合整備計画の概要について</p> <p>ア 上位計画の概要 イ 本整備計画の概要 ウ 事業内容</p> <p>(2) 評価結果の内容について(審議事項)</p> <p>ア 成果の達成度</p>

	<p>イ 事業の効果発現要因の整理</p> <p>(3) 今後の社会資本整備方針について(審議事項) ア 今後の社会資本整備の方策</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p>
6 審議結果の概要	<p>議題(1)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題(2)、(3)について 提案のとおり、承認された。</p> <p>議題(4)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p>
7 審議の内容	
委員長	<p>計画名「都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現（第2期）」の事業評価です。 まずは、（1）社会資本総合整備計画の概要について、市から説明をお願いします。</p>
都市施設整備課 施設営繕担当課長 補佐	<p>（資料により説明）</p>
委員長	<p>この説明に対して、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>評価書32ページから34ページの実施状況について、完了・継続のどちらの表記もない事業は、どのような状態なのでしょう。</p>
都市施設整備課 施設営繕担当課長 補佐	<p>既存住宅リフォーム事業については、平成30年度以降は国庫補助ではなく一般財源に変更して事業を進めたため、本計画にて「完了」と表記するのはそぐわないと判断し、空欄としています。 また、公的賃貸住宅家賃低廉化事業については、計算の結果、予定していた補助金給付の見込みがなくなったものですが、再計算により補助金給付が復活する可能性が無いとは言えないことから、「完了」とすべきではないと判断しました。</p>
委員	<p>それでは、これらについては何らかの状態が残っている、という解釈でよろしいでしょうか。</p>
都市施設整備課 施設営繕担当課長 補佐	<p>はい。その通りです。</p>
委員	<p>評価書25ページの寺泊地域に係る目標値について、これを算出する際に用いたアンケートとはどのようなものだったのでしょうか。</p>
都市施設整備課長	<p>本事業は平成28年度に始まったものですが、それに先立って当時の現況値を把握するための調査を行いました。計画の現況値は、こ</p>

	<p>のうち寺泊地域にお住まいの方の回答を対象として、算出しています。</p> <p>これを見ると、乗り継ぎの満足度について、標準的な値が「3」であるのに対して、結果は「2.7」と少々低い数値となっており、これは長岡市全体の満足度と比較しても低い値でした。本事業では、これを市全体と同等のレベルまで満足度を引き上げたいという意図があり、市全体の満足度である「2.8」を目標値としたものです。</p>
副委員長	<p>評価書34ページにて、寺泊地区駐車場整備事業は令和3年度以降に実施とありながら、45ページでは路線バス回転場の整備を行っているように見受けられますが、これは別事業ということでしょうか。</p>
都市施設整備課長	<p>45ページの事業は、32ページの表の一番下の、A13-010の事業の内容になります。34ページのご指摘の事業（C16-007）は別の事業で、当初実施を予定していたものの先送りとなり、今回の評価からは外れることとなりました。</p>
委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>それでは次に移ります。（2）評価結果の内容について、市から説明をお願いします。</p>
都市施設整備課長補佐	<p>（資料により説明）</p>
委員長	<p>この説明に対して、ご質問等がありますか。</p> <p>評価書59ページの指標の一覧表の下に、従前値より状況が悪化している場合には「×」と示すとありますが、今回の事業ではコロナ禍の影響が大きく、数値が振るわないなど、例外的な要因で数値が悪化しているものもあることから、これを記載すると、そういった指標について矛盾が生じる可能性があると思います。今回「×」とする指標がないのであれば、この部分の凡例は削除してしまってもよいのではないのでしょうか。</p>
都市施設整備課施設営繕担当課長補佐	<p>では、この部分は削除させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>そのように修正をお願いします。</p>
委員	<p>市営住宅の改修について、バリアフリーに関する整備もありましたが、この目標値は、利用者ニーズに沿って設定されているものなのでしょうか。</p>
都市施設整備課施設営繕担当課長	<p>市営住宅のバリアフリー化改修については、アンケート等により利用者の要望を伺って進めるものではなく、市の判断でバリアフリー化できるところについて、本計画に加えて進めているものです。資料でお示したような、それぞれのフロアが廊下でつながった「片廊下型」という構造であれば、エレベーターを設置することで全フロアでの改善を図れるので、そういった事例については積極的に整備を進めていくという次第です。</p>

<p>委員長</p>	<p>本項については確認事項が多いため、指標を一つずつ確認し、その達成度についての提案が適切かを審議するという形で、協議を進めたいと思います。</p> <p>まず、指標1については「△」としています。目標値80%に対して、半分程度の達成です。関連する整備に係る費用が高く、予算を使い切ってしまったということですがいかがでしょうか。</p> <p>今回の目標値は、少々設定が高すぎたように見受けられます。50%などもう少し低めに設定できていれば良かったかと思います。令和4年度時点で75.8%まで事業着手する予定という状況ですが、今回の評価としては「△」ということで承認したいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>指標2ですが、歩行者数の10万人は大きな数字だと感じます。最終的には従前値とほぼ同じという今回の結果になりましたが、様々な要因を踏まえて達成度は「△」というご提案ですが、いかがでしょうか。</p> <p>歩行者数については、コロナ禍ということもあり、あまりいい条件での調査が出来なかったように見受けられます。コロナ禍前でもイトーヨーカドーの閉店などもあります。令和元年時点では従前値を上回っているの、この達成度の条件は満たしているかと思えます。</p> <p>今後、これが上昇しているような展望が見えればいかと思います。その点も評価書63ページに記載の今後の展望を踏まえると、コロナ収束後は上昇していくのではないかという期待感があるということで、「△」として承認したいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて指標3についてはいかがでしょうか。</p> <p>狭あい道路の割合について、これは目標値を達成したという内容ですが、「○」でよろしいでしょうか。</p> <p>ご提案のとおり認めたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて指標4について、まちづくりイベント及び清掃活動の参加人数ということで、目標値2,880人に対して259人で「△」というご提案ですが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>令和3年度～4年度と、摂田屋地区において増加していることから「△」ということですが、一方で良寛朗読ライブや三国街道灯りイベントについては、増加の見込みがグラフから見受けられないと思います。</p> <p>コメントを見ると、地域の個性を活かした長岡らしいまちづくりが確実に進んでいると評価しているとのことで、確かに、摂田屋地区を訪問してみると新しいお店が出来たり、米蔵が出来たり、その風潮は感じています。ただ、やはり和島地区等では参加が激減しているということで、今後は歴史的なイベントに対して地域の目が向くような活動についても重要で、大事な評価の視点になってくると思います。</p>
<p>都市施設整備課長</p>	<p>摂田屋地区では令和2年度に米蔵がオープンし、パンのイベントやジャズイベント、HAKKOトリップ等の様々なイベントが開催された他、沿道施設の活性化により、地域住民や観光客の盛り上がりを見せているなどしていますが、今回の指標では対象のイベントを限定</p>

	<p>してしまったことで、評価値が思うように伸びないという結果になりました。</p> <p>反省点としては、PRや地域住民の巻き込み方など、不十分だったと思う箇所もあるので、今後の計画ではこれをしっかり反映させていきたいと思います。</p> <p>和島地区についても、イベントの参加人数は振るわなかったものの、道の駅や美術館等が整備され、ガンジーソフトも人気となりました。また、補足資料をご覧いただきたいのですが、和島地域全体の観光施設等の利用者数の推移をお示ししています。事業期間と示した範囲（H21-H30）が、はちすば通り等の整備を行った期間で、それを終えた昨年度頃に利用者数が好転しています。</p> <p>こういった要素を指標にすれば良かったのですが、実際には計画の目標である地区全体のまちづくりは進行しているという状況ですので、それらを踏まえて「△」というご提案にさせていただきました。</p>
委員	<p>和島地区はとても魅力的な地域だと思います。しかし、データではその様子が表現されていないので、コメントなどでこれらの地域の魅力について発信し続けており、評価されている、というような内容があっても良いと思います。</p>
都市施設整備課長	<p>参考資料を追加させていただき、ご指摘の点について記載していきたいと思います。</p>
委員長	<p>評価書66ページに示したように、HAKKOトリップの参加人数を加えると、このように十分な成果が得られている、ということですね。</p> <p>そもそもこの指標の対象となっているのは、市内のまちづくりイベント・清掃活動の参加人数ですか。それとも、65ページに記載された4つのイベントの参加人数ですか。</p>
都市施設整備課長	<p>元々は、様々なイベントが複合的に起こることで、まちづくりが進むという意図のものでしたが、設定時に4つのイベントに限定してしまったため、こういった結果となりました。指標の設定を、自然発生的なイベント等も含めて、値が増えていくというかたちにすべきでした。その点を踏まえて、今回は66ページに、整備効果によって自然発生的に実施されたイベントについても掲載しているものです。</p>
委員長	<p>指標4について、そういった要素を踏まえて「△」でご提案されているわけですが、ご意見はないでしょうか。</p> <p>新型コロナウイルスの影響がある中で、他のイベントの状況も踏まえると、この指標の主旨に関していえば十分満足していると思うので、「△」とするのであれば、これを承認したいと思います。</p>
委員長	<p>続いて指標5について、寺泊地域住民の街なみ環境に関する関心を向上させるということで、達成度は「△」とのことでした。</p> <p>これに関しては、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>アンケートの対象者は、平成28年度と、令和4年度で変わっているのでしょうか。</p>

都市施設整備課長	両方とも、寺泊地区の住民を対象にしたアンケートを実施し、地域住民がどのように感じているか調べたもので、平成28年度は76.9%でした。また、目標値としては、同様のアンケート調査での市全体の平均値を用いました。
委員	アンケートのサンプル数はどのぐらいですか。
都市施設整備課長	従前値の方が、長岡市全体で2,000人のうち寺泊地域住民が74人、評価値のアンケートは400人程度です。
委員長	400人のうち、寺泊地区の方は何人ですか。
都市施設整備課長	全員が寺泊地区です。 この指標については、寺泊地域の街なみ環境整備事業に基づくものです。旧北国街道は幅員が狭いため、電柱を民地に移設するなどして幅員を広げ、歩道部分を石畳風にして意匠を凝らしました。山手の方で散策が出来るように看板などを使いながら、市場で魚を買った人がすぐ帰らず、個々でミニ散策をしていただき、旧北国街道から夕日が見える中学校跡地などを散策、あわよくば1泊して滞在型となるような観光をしてほしいというものです。 しかし、計画期間内の進捗率は20%と道半ばであったことから、予定している整備が全部終わり、これらが定着すると目標値に届くのではないかと思います。今後も、引き続き事業の成果についてフォローアップしていきたいと考えています。
委員長	何かご意見、ご質問はないでしょうか。 関連事業がまだ進んでおらず、数字も大きく変化しているわけではないので、「△」が妥当かと思いますが、よろしいでしょうか。 異議はないようですので、ご提案を承認したいと思います。
委員長	続いて指標6について、前川駅の1日あたりの乗客ということで、こちらは達成度「△」ということですがいかがでしょうか。これについては、順調に推移しているということで、「△」としてよいと思いますが、いかがでしょうか。 異議はないようですので、ご提案を承認したいと思います。
委員長	続いて指標7について、寺泊地域における乗継満足度ということですがいかがでしょうか、
都市施設整備課長	評価書の45ページに事業を示していますが、寺泊駅前についてはバスと人と車と自転車が錯綜している状態で、混雑により路線バスが遅延してしまい、高校生が電車で乗り遅れてしまうという事態が生じていました。そこに、パーク&ライド、ロータリー、バス回転場を整備することで、渋滞の解消を図り、安全な広場にするというものです。完成予定は今年の秋で、現在はまだ効果が表れていないので、来年度以降フォローアップをしながら、効果について検証していきたいと考えています。
委員長	これも先程同様、指標も変わりませんので、「△」とさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。 異議はないようですので、ご提案を承認したいと思います。

<p>都市施設整備課長 補佐</p>	<p>全体を通してご意見はないでしょうか。 指標の設定がやはり一番難しく、なかなか事業に対する市民の評価を読み切れなかった点や、突発的な事態なども当然あります。事業が進捗しないことには、住民の方々が効果を感じるということも難しいと思いますので、あまり大きな目標値にしないというのも、一つ教訓としてあるかと思います。 次に、(3)今後の社会資本整備について、市から説明をお願いします。</p> <p>(資料により説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>この説明に対して、ご質問等がありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>昨今の課題として、ご存知の通り企業物価指数が上昇し、資材価格の高騰等によって社会資本整備に係る経費も増加すると思いますが、今後このインフレの傾向が進むことで、予算不足になり、事業が停滞するというような可能性はあるのでしょうか。</p>
<p>都市施設整備課長</p>	<p>都市施設整備課では本整備計画に関係する事業が多く、国の交付金を用いて進めているのですが、当然ながら人件費や物価高騰の影響はあります。 長岡市も財源が限られているため、その中でどうやり繰りするか、ということになります。地方財政がひっ迫する場合には、国から経済対策という形で交付金支給が追加で打ち出されますので、これを有効に使いながら、計画の見直しや、事業の統合・廃止なども検討しながら、必要な事業を効果的に進められるように工夫してやっていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>課題としては、そこまで深刻なものとして捉える必要はないということでしょうか。</p>
<p>都市施設整備課長</p>	<p>その通りです。</p>
<p>委員</p>	<p>住宅関係の整備は、予算の関係もあり、一気に、というのは難しいと思いますが、公営住宅の居住者は高齢者が多くなり、バリアフリー化が必要になったり、若い人たちのように車で街に出て買い物に行ったりすることが出来ず、利用できる公共交通もなく買い物難民になったりと、様々な課題も出てくるかと思います。住宅改修などハード面の部分だけでなく、そこで生活していく人達が、不便を感じるような部分を全体的に考えていかななくてはならないと思います。 また、中心部の都市機能という点で、米百俵プレイスが整備されれば更に街の活性化が期待できますし、すでにアオーレの機能で若い世代の人たちも様々なイベントに参加する様になり、非常に高い効果が出ていると思います。まちづくりに関しては、私自身摂田屋地区は事業に関わりがありますが、地域住民も巻き込んでまちぐるみでPR活動をしていくのがよいと感じました。和島地区でも同様の取り組みはあるかと思いますが、これを後押しするような取り組みや、全体的な事業などが、地域の活性化に寄与するのではないかと思います。</p>

都市施設整備課 施設営繕担当課長	市営住宅の整備について、バリアフリー化だけでなく、高齢の居住者に対してさらなるご配慮を、とのご意見をいただき、ありがとうございます。近年積極的に進めている事業としては、和式便器の洋式化など、高齢者が使いやすい形での改善をメニューに加えながら、少しずつでも、住みやすい形になるように進めております。ご意見も参考にさせていただきながらより良い市営住宅にしていきたいと考えています。
都市施設整備課長	公共交通についても、バスの本数が減ったり、地方部での買い物難民の発生など、そういった課題は全市的なものですので、バスだけでなくデマンドタクシーとするなど、様々な方法で解消を図れる施策を、併せて考えていきたいと思えます。
委員	よろしくをお願いします。
中心市街地整備室 まちなか整備担当 課長	<p>再開発事業では資材高騰の影響で、当初に比べ事業費が増額しているため、国からの補助を最大限活用して、関係者及び市の財政負担を軽減し、事業の推進に努めていきます。</p> <p>中心市街地の活性化については、中心市街地の関係者の皆様との意見交換等を通じて、活性化への強い意欲を感じておりますので、官民で連携して取り組んで参ります。</p> <p>7月22日には「米百俵プレイス ミライエ長岡」のオープンも控えているので、盛り上げていきたいと考えています。</p>
委員長	他にはいかがでしょうか。
委員	<p>和島島崎地区の街なみ環境整備について、整備の推進と併せて、地域資源を活かした活動というものもあり、非常に大切なので、今後も地域住民と一緒に頑張っていきたいと思っています。</p> <p>その中で、評価指標にもありましたが、昨今の流れとして、一過性のイベントを行う様な方針から、日常的に観光客を招くようなスタイルへとシフトしつつあります。今後新しい指標や改善の方策を考える際にも、1日限りのイベントで瞬間的に来訪者を増やすだけでなく、平時でも長岡市においでいただくというような考え方も踏まえながら、環境整備等を進めたり、広報活動の評価などを進めていただければと思います。</p>
都市施設整備課長	是非考えていきたいと思えます。
委員長	<p>他はよろしいでしょうか。</p> <p>中心市街地の再開発について、民間事業者に建物の共同建て替えのための基本計画作成費用を補助したが、あまり成果らしい成果にならなかったということでしたが、今後の方策などがあれば、お伺いできますでしょうか。</p>
中心市街地整備室 まちなか整備担当 課長	<p>共同の建て替え事業の事業費には、保留床の売却益、国の補助金や金融機関からの借入れなどが含まれ、権利者の皆様が計画に同意しないと成り立ちません。</p> <p>そのため、権利者の皆様が事業に概ね同意し事業計画を作成した場合でも、具体的な事業計画や資金計画を確認した結果、合意に至</p>

<p>委員長</p>	<p>らず、というケースもあります。</p> <p>国も、本計画で実施した計画作成等事業については建物の整備の有無にかかわらず補助対象としていますので、制度を活用して空いた土地については積極的に参画して頂きたいと考えています。</p> <p>中心市街地の空いた地区について、私としても活性化していただきたい。閉店が続くシャッター通りになると、治安にも、また視覚的にも良くないと思いますし、魅力ある街にしていくためにも、何とかして頂きたいので、今後是非整備を進めていただきたいと思います。</p>
<p>中心市街地整備室 まちなか整備担当 課長</p>	<p>同じようなご意見は市民の皆様からも頂いており、このように活用できる制度があることを知らない方もおられるようなので、そのPRも含めて、取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、（４）今後のスケジュールについて、市から説明をお願いします。</p>
<p>都市施設整備課長 補佐</p>	<p>（資料により説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>この説明に対して、ご質問等がありますか。 ご質問等がなければ、これで議事は全て終了とします。</p>